

B型肝炎

★病気の説明

B型肝炎ウイルスに感染しておこる肝臓の病気です。通常の生活では感染しませんが、傷などがあるとウイルスに汚染された血液や体液などを介して、まれに感染することがあります。成人が感染すると倦怠感や黄疸などの症状が出る一過性の急性肝炎をおこすことが多いのですが、ときに持続感染をおこすことがあります。ウイルスの持続感染者をキャリアと呼び、将来、慢性肝炎・肝硬変・肝癌になる可能性が高く、5歳未満の乳幼児期に感染するとキャリアになる率が高いことも知られています。



★予防接種の受け方

- ・接種対象年齢：1歳未満
(標準的な接種期間：生後2か月以上9か月未満)
- ・接種する回数：合計3回
(27日以上の間隔で2回接種後、1回目から139日以上の間隔で1回接種)